

## 2013年12月運用報告書(2013年12月1日～2013年12月31日)

### 純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：6.18%】

	設定時 (1999/2/1)	2013年8月末	2013年9月末	2013年10月末	2013年11月末	2013年12月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	2,018,257	1,820,455	1,844,524	1,876,570	1,922,585
月次騰落率	—	-3.85%	-9.80%	1.32%	1.74%	2.45%
設定来騰落率	—	101.83%	82.05%	84.45%	87.66%	92.26%

### 各セクターごとの損益

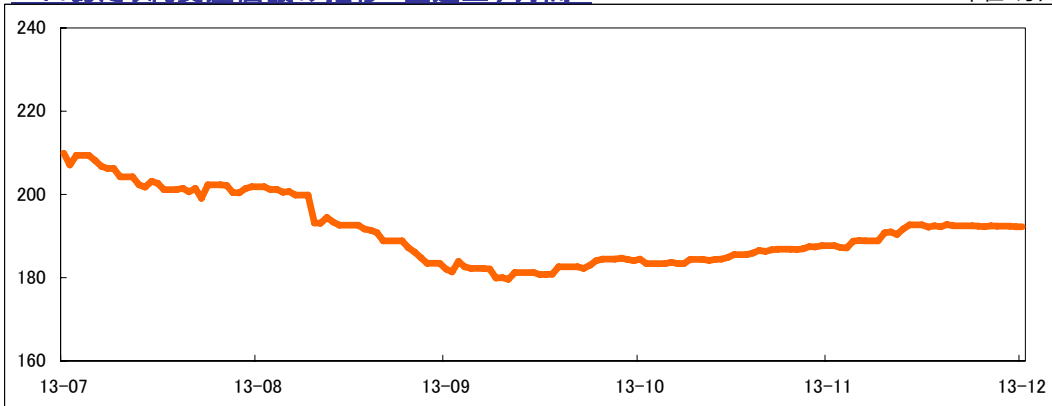
2013年12月の運用成績はプラスとなり、アセットトライは前月比2.45%の利益となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
+	-	++	+	+	+	-

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

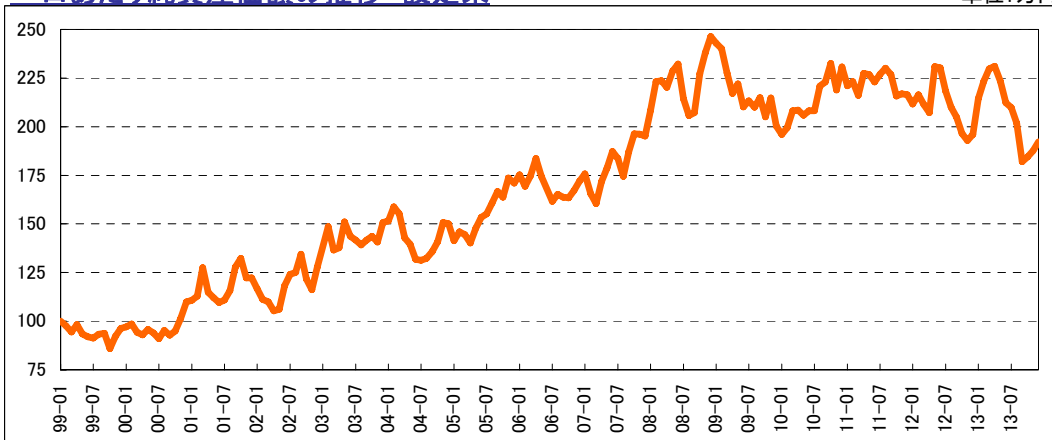
### 一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位: 万円



### 一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位: 万円



### マーケット概要

為替相場では、米ドルは対ユーロでは緩やかなドル安となりました。期末要因を背景とした資本調達  
のユーロ買いが残る一方で、ドル円レートは101.61円より円安傾向となり、下旬には105円越えまで円  
安が進行しました。株価上昇を背景に海外勢のヘッジ取引による円売りが活発化しました。また、日本  
の公的年金部門がいずれ海外資産の運用比率を高めるとの見方も根強く、円安期待が持続しました。

主要国の短期金利は、ユーロが11月の政策金利引下げ決定以降の上昇傾向から月末には反落し、  
円、ドルでは低水準の横ばいが継続しました。長期金利は、米国が1月からの量的金融緩和の縮小を  
決定したほか、株価も上昇基調を維持するなかで、米国、英国、ドイツなど主要国では小幅ながら上昇  
傾向。国内でも横ばいから年末にかけて小幅上昇となりました。

主要国の株価指数は、先進国市場が日米主導で上昇しました。当初は、クリスマス休暇前の利益確  
定売りなどが圧迫となったものの、米連邦公開市場委員会(FOMC)での量的金融緩和縮小決定後は  
切り返し、NYダウは年末に過去最高値を更新。日経平均株価も105円台への円安を背景に大納会で  
年初来高値を更新しました。ただ、新興国市場は中国を中心に軟調推移となりました。

原油相場は、ブレント原油は110ドル前後での推移となりました。当初は米国でパイプライン稼働によ  
る在庫偏在の解消が期待され、WTI主導で113ドルへ上昇。リビアの供給が年内にも回復する見通し  
から中旬には108ドルへ反落したものの、実際には回復が遅れ、南スーダンでも情勢悪化で原油輸出へ  
の影響が懸念されると反発、111ドル水準で越月しました。

金相場は、1,267ドルを高値に軟調地合いを継続しました。下旬に1,190ドル割れへ下落した後、1,205  
ドルで越月しました。米国の量的金融緩和の縮小が既定路線となる中で、1月からの追加緩和縮小が  
決定され、クリスマス休暇を控えて売り圧力が強まりました。日本、米国、欧州市場ともに株価が上昇  
傾向をたどる中で、金を含む貴金属への関心も後退しました。

トウモロコシ相場は、下値圏での横ばい推移となりました。2013年度の米国トウモロコシが過去最大  
の生産高となるなか、米国内ではエタノール向け需要の縮小が見込まれ、輸出についても中国が未  
承認の遺伝子組み換えトウモロコシ混入を理由に輸入をキャンセルするなど需要面の弱さが上値を抑  
制。一方で、アルゼンチン産地の高温乾燥懸念が下支えとなりました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットトライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。



## 「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.10%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル  
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

## 「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

### 金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会